

# JMFF

## 日機連週報

第3514号 2025年8月1日(金)

### CONTENTS

#### ● 講演会報告

ポリテクカレッジ（職業能力開発大学校）への国内留学で  
『ものづくり人材』を育成・確保  
— 「ポリテクカレッジ人材育成システム」について聞く —

#### ● ワシントンレポート特別記事

米国南部「ユニコーンシティ」 —アーカンソー州ベントンビルの魅カー

#### ● 政府公開情報

「国内投資マップ」の公表について

#### ● 日機連の動き

ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会(RRI) Webinar【4th IRアカデミー  
(第10回)ハノーバーメッセ2025を読み解く】の開催について

#### ● 会員イベント情報

(一社)日本計量機器工業連合会 「新技術導入・活用研究会」のご案内  
(2025年10月～2026年3月開催)

(一社)日本産業機械工業会、(一社)日本産業車両協会

「国際物流総合展2025 第4回 INNOVATION EXPO」のご案内  
(一社)日本ねじ工業協会 「2025年度 ねじ製造技能検定講習会」開催のお知らせ

#### ● お知らせ

(一社)日本エレベーター協会 「エスカレーター「歩かず立ち止まろう」キャンペーン」  
及び「エレベーター・エスカレーターを安全にご利用いただくための安全利用アニメ」のご紹介

厚生労働省 「40歳未満の事業主健診情報等のNDBへの収載」について

日機連ではホームページを開設しておりますのでご利用下さい。

URL : <https://www.jmf.or.jp>

[バックナンバーはこちらから](#)

<禁無断転載>

## ● 講演会報告

## ポリテクカレッジ(職業能力開発大学校)への国内留学で

## 『ものづくり人材』を育成・確保

## — 講演会、「ポリテクカレッジ人材育成システム」について聞く —

日機連は、7 月 16 日(水)に WEBEX とのハイブリットで講演会を開催し、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構(JEED)公共職業訓練部 調査役の菅沼 啓氏、同じく調査役の宿谷 慶氏から、「ポリテクカレッジへの国内留学で『ものづくり人材』を育成・確保」をテーマに講演を聞き、意見交換した。(文責:日機連)。



菅沼 啓氏



宿谷 慶氏

## [講演要旨]

## 1. ポリテクカレッジ(職業能力開発大学校)の紹介

[職業能力開発大学校・短期大学校\(愛称:ポリテクカレッジ\)](#)は、厚生労働省所管の教育訓練施設で、全国 27 施設に設置され、若年者を対象とした「ものづくり人材」の育成を目的としている。地域の産業界と連携し、企業の人材ニーズに対応した職業訓練を実施しているため、毎年、ほぼ 100% の就職実績である。修了生を採用した事業主からの評価は高く、また、職場定着率も国立工科系大学修了生よりかなり高くなっている。

ポリテクカレッジが行う教育訓練システムは、「専門課程」と「応用課程」の2つがある。「専門課程」は、基礎的技能・技術から、専門分野に必要な高度な技能・技術までを体系的に習得する2年間の訓練課程で、生産等に対応できる技能・技術と適切な判断力を有する将来の製造部門のリーダーを目指し、次の応用過程への進学もできる。「応用課程」は、専門課程修了相当の技能・知識を有する者を対象にした、さらに高度な技能・技術や企画開発等を習得する2年間の訓練課程で、新製品の開発・生産工程を構築等に対応できる将来の生産技術・生産管理部門のリーダーを目指す。

全国にあるポリテクカレッジを映像で紹介した例として、北陸職業能力開発大学校の YouTube 動画3点をご紹介します。[【北陸能開大2023】専門課程 3 科紹介 ver](#)

[【北陸能開大2021】⑤ 生産機械システム技術科](#) [【北陸能開大2021】⑨ 開発課題](#)

オープンキャンパス、定員、就職先等の情報は、各ポリテクカレッジ HP に掲載しているが、主に機械系の専門課程に生産技術科・生産機械技術科、応用過程に生産機械システム技術科がある。

電気系は、専門課程に電気エネルギー制御科、応用過程として生産電機システム技術科がある。電子情報系には、専門課程に電子情報技術科、応用過程として生産電子情報システム技術科、また、建築系として、専門課程として住居環境科、応用過程として建築施工システム技術科がある。また、他にも地域により航空機整備科、国際ホスピタリティ観光科、メカトロニクス技術科、デジタルサポートシステム科、港湾流通科、物流情報科、港湾ロジスティックス科、港湾荷役科等もある。

## 2. 生産性向上人材育成支援センターが行うリスキリングによる人材訓練

人手不足の深刻化や技術革新の進展の中で、中小企業等が事業展開を図るには、従業員を育成すると共に、企業の労働生産性を高める必要がある。JEED では、全国のポリテクセンター・カレッジ等に「[生産性向上人材育成支援センター](#)」(生産性センター)を設置し、企業の人材育成の相談や支援、課題に合わせた人材育成プランの提案、職業訓練の実施まで、中小企業等の人材育成に必要な支援を一貫して行うと同時に、生産性の向上に必要な知識、技能及び技術等を習得できる在職者向けの訓練等様々な支援策を提供している。

高度な技能・技術の習得支援(在職者訓練/能力開発セミナー)では、設計・開発、加工・組立、工事・施工、検査、設備保全等、ものづくり分野で実習を中心としたカリキュラムにより、「技能・技術等の向上」や「新たな製品づくり」等の生産現場の課題を解決するための訓練コースを体系的に実施している。地域や個別企業等のニーズを踏まえて訓練を実施しており、DX につながるデジタル技術に対応した訓練や GX につながる環境・エネルギー分野に関連する技術に対応した訓練も実施している。訓練日数は、概ね 2~5 日(12~30 時間)で受講料(1人あたり平均)13,000 円程度、主な訓練分野は、機械設計、機械加工、金属加工、制御システム設計、通信設備設計、電気設備工事、建築計画、測定・検査、設備保全等がある。

生産性向上に必要な知識等の習得支援(生産性向上支援訓練)では、生産管理、IoT・クラウドの活用、組織マネジメント、マーケティング、データ活用等、あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムにより、70 歳までの就業機会の確保に向けた中高年齢層の従業員の育成や、DXの推進に資する人材育成の支援等、企業の生産性向上に必要な知識等を習得する訓練コースを、専門的な知見を有する民間機関等を活用して実施している。訓練日数は、概ね 1~5 日(6~30 時間)、(IT業務改善は 4~30 時間)で、受講料(1人当たり税込)3,300 円~6,600 円(IT業務改善は 2,200~4,400 円)で、主な訓練分野は、生産管理、品質保証・管理、バックオフィス、データ活用、情報発信、倫理・セキュリティ、営業・販売、マーケティング、企画・価格、組織マネジメント、生涯キャリア形成、データ活用、情報発信、倫理・セキュリティ等がある。

また、講師がいない、機械を止められない、研修場所がない等の企業要望に応じ、機構の職業訓練指導員(テクノインストラクター)の企業派遣や、ポリテクセンター等の機構施設・設備(会議室、実習場及び訓練用設備・機器)の貸出しも行っている。

## 3. 国内留学(事業主推薦制度)による人材の確保と人材育成

製造業における人材不足やものづくり人材の育成が課題となり、国の施策としてリスキリングが推進されている。また、18 歳人口の減少に伴い新規高卒の入校者数が減少しているため、ポリテクカレッジへの既卒者の入校を促進している。ポリテクカレッジでは、従業員の国内留学(事業主推薦制度)

があり、本制度を人材育成や人材確保に活用し、ものづくり人材の育成や新卒採用が実現できた事例が増えている。

国内留学(事業主推薦制度)は、従業員がポリテクカレッジに入校できる制度で、入校対象者は、①普通高校等出身の新入社員で、初めてものづくりの現場等に従事する未経験者で、中小企業の人材確保手段を目的とする場合、②就業後 2～3 年目の若手社員で、ものづくりの知識・技能・技術等をレベルアップさせ、中小企業等がものづくり力向上のために活用することを目的とする場合、③就業後 3～10 年目の若手社員で、ものづくりの現場等のリーダーに育成したい中堅社員で、応用課程に入校させて生産現場のリーダーの育成を目的とする場合、④中小企業等の事業承継者で、事業を承継する予定だが、ものづくり分野での就業経験がない者で、ものづくり現場の基礎知識・技能・技術等の習得を目的に活用を目的とする場合等となる。それぞれ大企業はもとより中小企業、銀行等の具体的な[活用事例集](#)を毎年作成している。

#### 4. 人材開発支援助成金制度

国内留学(事業主推薦制度)には当然費用がかかるが、国の助成金「[人材開発支援助成金](#)」が利用できる。これは新規事業の立ち上げ等の事業展開に伴い、事業主が雇用する労働者に新分野で必要な知識・技能を習得させる訓練を計画に沿って実施した場合等に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部を助成する制度で、これを使うと国内留学(事業主推薦制度)の訓練期間中に社員に支払った賃金の一部と入校料、授業料、テキスト代等の経費の一部が助成される。

社員が雇用保険被保険者で、1 か月前までに受講予定の訓練計画等を提出する等の要件があり、助成額にも上限がある。事業主は必ず助成金を受給できるわけではなく、助成金に係る相談、計画、申請が必要で、必要手続きを期日までに行わない場合や、要件を満たさない場合等も支給されない。詳細は、都道府県労働局にご相談頂きたい。

助成金の内容としては、賃金の助成額(1 人 1 訓練あたり 1,200 時間上限)が、人材育成支援コースは、中小企業が 800 円/時間、大企業は 400 円/時間、事業展開等リスクリング支援コース※は、中小企業 1,000 円/時間、大企業 500 円/時間である。経費の助成率(1 人 1 訓練あたり中小企業 50 万円、大企業は 30 万円上限)は、人材育成支援コースで正社員の場合は、中小企業が 45%、大企業は 30%、事業展開等リスクリング支援コース※は、中小企業は 75%、大企業は 60%である。(※事業展開等リスクリング支援コースは、令和4年～8年度の期間限定で、創設された。)

#### 5. 人材育成の課題は、ポリテクカレッジにご相談を

即戦力として期待できるものづくり人材を採用したい場合、採用した方をものづくり人材に育成したい場合、人材育成をアピールして新卒人材を確保したい企業様は、[全国にあるお近くのポリテクカレッジ](#)に、是非ご相談を頂きたい。

また、中小企業では人材育成や確保が喫緊の課題となっている。機械関連団体の会員は中小企業も多く、各団体では人材育成方策が注目しているとお聞きする。各団体で会員向けの人材相談会を開催される場合、率先して、地方でも講師を派遣する用意があるため、お声掛け頂きたい。

〔総務部〕

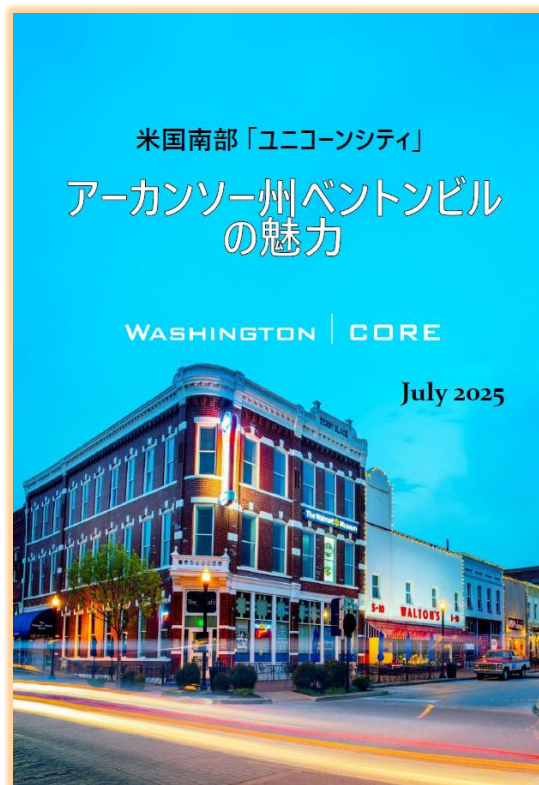
# Washington Report ワシントンレポート 特別記事

ワシントンコア社(ワシントン DC)より特別記事を寄稿いただきました。

## 米国南部「ユニコーンシティ」

### — アーカンソー州ベントンビルの魅力 —

米国南部アーカンソー州北西部に位置する人口6万人の地方都市、ベントンビル。世界最大の小売業者ウォルマートの本社所在地として知られますが、近年では豊かな自然環境と多様な産業の集積により、新たな移住先として注目を集めております。地元ではこの街を「ユニコーンシティ」と呼んでいるとのこと。その理由や将来性について、ベントンビル地域商工会議所のブランドン・ジェンゲルバック CEO にワシントンコア社が話を聞きました。



記事の詳細は、下記 URL をクリックして下さい。

<https://www.jmf.or.jp/jmf/wp-content/uploads/2025/07/WCOREtr4.pdf>

本資料及び米国投資・技術動向全般にご関心のある方はワシントンコアにお問い合わせください。

<https://www.wcore.com/home/contact-jp/#form-jp>

お問い合わせお待ちしております！

WASHINGTON | CORE

## ● 政府公開情報

## 「国内投資マップ」の公表について

経済産業省では、同省のホームページにおいて「国内投資マップ」を公表していますので、お知らせします。

詳細は、以下ホームページを参照願います。

<https://www.meti.go.jp/press/2025/07/20250708002/20250708002.html>

今般、経済産業省では、事業者の皆様が設備投資について検討される際、どのような支援策を活用できるか参考にして頂けるよう、令和 3 年度補正予算～令和 7 年度当初予算において、経済産業省が実施した投資支援関連予算(予算額 500 億円以上)の採択案件(全 29 万件)の一部を、分野、企業規模、立地市町村など一定のバランスを考慮しつつ、都道府県別に図示しました。

今後も活用可能な投資支援策例として「中小企業生産性革命推進事業(ものづくり補助金)」、「中小企業生産性革命推進事業(小規模事業者持続化補助金)」、「中小企業生産性革命推進事業(IT 導入補助金)」など掲載されています。

〔総務部〕

## 日機連の動き

## ○ 今後の会合予定

開催日時		会合概要	場 所
8 月	5 日(火) 14:30～	<b>第 9 回技術イノベーション研究委員会</b> テーマ:モノづくり現場の新しい安全 協調安全と Safety 2.0 人・モノ・環境、3 者の情報共有。 講師:セーフティグローバル推進機構(IGSAP) 会長 明治大学名誉教授 向殿政男様	日機連会議室 1
	8 日(金) 15:00～	<b>第 489 回総務連絡会</b>	日機連会議室 1
	22 日(金) 15:00～	<b>第 79 回社員満足向上懇話会 懇談会 (大阪事務所)</b>	日機連大阪事務所 (大阪市北区)

	22 日(金) 15:30～	<b>第 11 回 GVC 研究委員会</b> 講演テーマ:「世界のエネルギー情勢、資源外交と安全保障～資源小国 日本が目指すべき姿～(仮)」 講師:一般財団法人日本エネルギー経済研究所 専務理事 首席研究員 研究戦略ユニット担任 小山 堅様	日機連会議室1 <b>お試し WEB 参加募集中</b>
	26 日(火) 15:00～	<b>第 10 回 GX 研究委員会 見学会</b> 見学先:日立製作所中央研究所「協創の森」 内容:日立製作所中央研究所のサーキュラーエコノミーの取組みと「協創の森」の紹介、および見学	日立製作所中央研究所「協創の森」 (東京都国分寺市)
	26 日(火) 15:30～	<b>第 715 回総務懇話会・懇談会(大阪事務所)</b>	日機連大阪事務所 (大阪市北区)
	29 日(金) ～30 日	<b>第 654 回海外・産業動向懇談会・見学会</b>	新潟県燕市他
9 月	3 日(水) 13:30～	<b>第 490 回総務連絡会・見学会</b>	防衛省(東京都新宿区市ヶ谷)
	5 日(金) 午後	<b>第 1 回機械安全標準化特別委員会、機械安全推進特別委員会(合同会議)</b>	日機連会議室1
	5 日(金) 15:30～	<b>製造業における事業継続能力向上セミナー(大阪事務所)</b>	WEB 配信



**ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会(RRI)**  
**Webinar【4th IR アカデミー (第 10 回) ハノーバーメッセ 2025 を読み解く】**  
**の開催について**

[ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会\(RRI\)](#)が、2025 年 8 月 21 日(木)15:00～17:00に開催する予定の Webinar【4th IR アカデミー(第 10 回)ハノーバーメッセ 2025 を読み解く】参加者募集についてお知らせします。

4th IR アカデミーの第 10 回は、2025 年 4 月にドイツ・ハノーバーで開催されたハノーバーメッセ 2025 について、現地参加された皆様による本音での座談会をお届けします。

ハノーバーメッセは近未来の産業界の方向を示す世界最大級の産業展です。産業革命・デジタ

ル化は、急速に進化する AI の活用、ソフトウェア・デファインド、CPS/DT、XR/メタバースがデータ連携を介してエネルギー・ロボット・自動化など含め統合され、実証・実装段階へと蓄積を重ねています。その目的はサステナブルとイノベーションです。今の分断など新たな課題も踏まえつつ、どのような産業社会にしていくのか欧州との違いも考えて、日本の製造業が直面する課題と今後の方向性を自由に読み解きます。皆様が近未来を考えるきっかけにいただければ幸いです。

## ○ 4th IR アカデミーについて

産業革命とは、技術が広く社会・産業の変革を起こすことを指すとの理解から、多様な分野での変化と日本のギャップを捉えるために、RRI/WG1/産業 IoT ロードマップ調査研究委員会では、第 4 次産業革命(4th IR)アカデミーと題してセミナーを企画開催しています。関心のある話題などは是非お寄せください。企画の参考にさせていただきます。

本講座は IoT による製造ビジネス変革 WG(WG1)/産業 IoT ロードマップ調査研究委員会の活動の一環として実施します。本講座へは RRI 会員以外の方にもご参加いただけます。

### 【4th IR アカデミー(第 10 回)ハノーバーメッセ 2025 を読み解く】開催概要

1. 日時:2025 年 8 月 21 日(木) 15:00-17:00
2. 開催形式:WEB 会議(Webex)
3. プログラム:講演:「ハノーバーメッセ 2025 を読み解く」  
登壇者:福本 勲 氏(合同会社アルファコンパス 代表 CEO)  
濱口猛智 氏(マイクロソフト コーポレーション/製造 モビリティ インダストリー /ディレクター, インダストリーアドバイザー)  
中島一雄 氏(RRI インダストリアル IoT 推進統括)  
モデレータ:水上 潔 氏(RRI WG1 産業 IoT アドバイザ)
4. 参加申込み方法:  
こちらの【[参加お申込みフォーム](#)】をクリックし、入力フォームに必要事項をご入力下さい。  
ご入力頂いたメールアドレス宛に、折り返しご参加 URL をメールにてお送りします。
5. 申込み締切:8 月 20 日(木)までにご参加登録をお願い致します。

詳細は、RRI のホームページを参照下さい。

<https://www.jmfrri.gr.jp/events/events-6393/>



ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会  
Robot Revolution & Industrial IoT Initiative

〔ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会(RRI)〕※



(一社)日本計量機器工業連合会  
「新技術導入・活用研究会」のご案内 (2025 年 10 月～2026 年 3 月開催)

一般社団法人 [日本計量機器工業連合会\(計工連\)](#)では、計量・計測機器を製造する会員企業の一層の製品・技術開発力の強化に資するため、各界の学識者、専門家を講師にお迎えし、6回にわたり**新技術導入・活用研究会**を開催してきております。2025 年度は、「安心・安全な環境作りに求められる計測技術」をテーマに、実験・分析システム、ロボット、バイオマス、データスペース、精密測定、AI 等に関わる技術開発の最前線について紹介いたします。本研究会を新技術導入・活用のための情報収集機会として、また、技術開発者養成の場として、ご活用くださるようご案内申し上げます。

なお、参加申し込みは **9 月 3 日(水)締切**です。詳細は、[計工連公式ホームページ](#)をご確認ください。

**「新技術導入・活用研究会」概要**

- |            |  |     |                    |
|------------|--|-----|--------------------|
| <b>第1回</b> | 2025 年 10 月 8 日(水) 13:30～16:30   | 会 場 | 日本計量会館 3 階会議室      |
|            | テーマ 「製造オートメーションで普及している国際標準のラボ機器への展開～LADS OPC UA～」  |     |                    |
|            | 講 師 (一社)日本分析機器工業会 シニアアドバイザー 石隈 徹 氏   |     |                    |
| <b>第2回</b> | 2025 年 11 月 4 日(火) 13:30～16:30   | 会 場 | 日本計量会館 3 階会議室      |
|            | テーマ 「人口減少時代におけるロボット普及のための人・機械協調」   |     |                    |
|            | 講 師 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 研究戦略本部<br>ウェルビーイング実装研究センター 副研究センター長 中坊嘉宏 氏                            |     |                    |
| <b>第3回</b> | 2025 年 12 月 8 日(月) 13:30～16:30   | 会 場 | 日本計量会館 3 階会議室      |
|            | テーマ 「森林バイオマスの材料展開の最前線」   |     |                    |
|            | 講 師 (国研)森林研究・整備機構 上席研究員、(株)木質素研究所 取締役 CTO 山田竜彦 氏   |     |                    |
| <b>第4回</b> | 2026 年 1 月 23 日(金) 13:30～16:30   | 会 場 | 日本計量会館 3 階会議室      |
|            | テーマ 「産業データ連携の動向～製造業へのインパクトと可能性～」   |     |                    |
|            | 講 師 ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会<br>WG1 インダストリアル IoT 推進統括 中島一雄 氏                                 |     |                    |
| <b>第5回</b> | 2026 年 2 月 <sup>*1</sup> 13:30～16:30   | 会 場 | 大阪大学 吹田キャンパス       |
|            | テーマ 「AI・量子光学に基づいた次世代精密計測法」   |     | ※1 日程は後日ご案内いたします。  |
|            | 講 師 大阪大学 大学院工学研究科 機械工学専攻<br>統合設計学講座 ナノ加工計測学領域 准教授 水谷康弘 氏                                     |     |                    |
| <b>第6回</b> | 2026 年 3 月 12 日(木)13:00～17:00 <sup>*2</sup>  | 会 場 | 日本計量会館 3 階会議室      |
|            | テーマ 「説明可能な AI (XAI: eXplainable Artificial Intelligence) の一種<br>・SLSystem と Excel で学ぶ最適化の本質」 |     | ※2 通常とは講演時間が異なります。 |
|            | 講 師 (一社)光融合技術協会 理事 稲 秀樹 氏  |     |                    |

参加費 お一人 計工連会員 75,900 円(消費税込み)  
(講演全 6 回分) 計工連団体会員 86,900 円(消費税込み)  
計工連会員外 103,400 円(消費税込み)



[研究会の詳細については、こちらをクリック!!](#)

(一社) 日本産業機械工業会、(一社) 日本産業車両協会  
「国際物流総合展 2025 第 4 回 INNOVATION EXPO」のご案内

物流は、我々の日常生活をはじめ、我が国の経済を支える重要な社会インフラです。我が国の物流は、労働力不足、環境負荷の低減、多様化する消費者ニーズや技術革新へ向けた対応など、容易に解消できない様々な課題を抱えています。これらの課題に早急に対処していかなければ、いずれモノが運べなくなり、経済成長を制約する重大な要因となる他、物流危機を起こしかねません。企業のサプライチェーン構造改革や、企業間の協調・連携を促進し、社会を動かすためにも、物流は必要不可欠な機能です。またこの先の未来では、ロジスティクスが社会課題の解決をリードしていき、世界を動かす原動力となっていくことが望まれます。

[一般社団法人 日本産業機械工業会\(JSIM\)](#)と[一般社団法人 日本産業車両協会\(JIVA\)](#)ではこの度、物流に関わるあらゆる技術、知識、情報を集約、フル活用し、経営の変革を促進することを目的に、「[国際物流総合展 2025 第 4 回 INNOVATION EXPO](#)」を開催します。社会課題の解決に向け、活発なビジネス交流、商談機会を提供し、新たなビジネスを生み出す場となる本展にぜひ積極的なご参加をお願いいたします。

## 記

### 国際物流総合展 2025 第 4 回 INNOVATION EXPO 概要

テーマ	物流を止めない。社会を動かす。
目的	内外の最新物流機器・システム・情報等のソフトとハードを一堂に結集し、交易振興・技術の向上・情報の提供・人的交流等を促進することを目的とする。
会期	2025 年 9 月 10 日(水)~12 日(金)の 3 日間 / 10:00~17:00
会場	東京ビッグサイト(東京国際展示場) 東 4-8 ホール
出展予定規模	450 社・団体 / 1,500 ブース
入場料	¥3,000 ※ただし、招待状・事前登録証持参者は無料
主催	(一社)日本産業機械工業会、(一社)日本産業車両協会、(一社)日本パレット協会、 (一社)日本運搬車両機器協会、(一社)日本物流システム機器協会、 (公社)日本ロジスティクスシステム協会、(一社)日本能率協会

オフィシャルサイトでは、[既に事前登録が開始](#)しております。事前登録すれば、入場料が無料になります。この機会に、ぜひ、「[国際物流総合展 2025 第 4 回 INNOVATION EXPO](#)」にご来場ください！！



[国際物流総合展 2025 第 4 回 INNOVATION EXPO サイトのリンクこちら！！](#)

## (一社) 日本ねじ工業協会 「2025 年度 ねじ製造技能検定講習会」開催のお知らせ

一般社団法人 [日本ねじ工業協会](#)では、2025 年度「ねじ製造技能検定(協会認定1級、2級)」の募集要項を発表いたしました。協会では、今年度も技能検定試験に先立って、「ねじ製造技能検定講習会」を実施いたします。当講習会は、1 級、2 級受検を予定されている方から、ねじ製造に関わる体系的な知識を学びたい方まで、お役に立てる内容になっていますので、是非、ご活用いただきたくご案内いたします。

なお、講習会では、新たにねじ製造技能検定試験(協会認定)の 1 級の作業試験にも対応した講習内容となるように配慮しています。参加を希望される場合は別紙1の参加申込書に必要事項をご記入の上、協会事務局宛に FAX、電子メール、郵送のいずれかでお申し込み下さいますようお願いいたします。

東京会場・大阪会場に参加された方を対象として、試験の「傾向と対策」「講習内容に対する質疑応答」等を用意していますので、多数の皆様の現地でのご参加をお願い申し上げます。

## 記

## 2025 年度ねじ製造技能検定講習会 概要

- 開催期日: (1) 9 月 18 日(木)、(2)10 月 2 日(木)、(3)10 月 16 日(木)
- 開催場所: 東京会場—受講者及び講師参加の[対面による講習会](#)(定員 70 名程度)  
機械振興会館(東京都港区芝公園 3-5-8)  
大阪会場—受講者参加による [Web 講習会](#)(定員 70 名程度)  
天満研修センター(大阪市北区錦町 2-21)  
Web 講習—東京会場・大阪会場に来られない方は、ウェビナーを受信できる場所での [オンライン講習会](#)(受講場所(部屋番号)等の詳細は受講票でお知らせします)
- テーマ(カリキュラム)及び講師 ※ 講師・講習時間及び内容の一部が変更になる場合があります。
  - ・9 月 18 日(木)**

9:15	講習会開催挨拶	佐藤義則 会長 ((一社)日本ねじ工業協会)
9:15 ~10:35	ねじの基礎知識について (80分)	木田秀樹氏 (株)互省製作所)
10:45~12:15	ねじ用材料とその熱処理 (90分)	岩本真一氏 (大阪精工(株))
13:15~14:45	品質管理と検査 (90分)	吉岡正澄氏 (株)フセラシ)
14:55~15:45	表面処理について (50分)	山室正明氏 (元 日本表面化学(株))
15:55~16:45	安全衛生について (50分)	土居貴志氏 (日産ネジ(株))
  - ・10 月 2 日(木)**

9:40~12:00	冷間工程設計、ボルト生産設備及びボルト冷間圧造加工機の取り扱い方について (演習問題及び問題の解説を含む) (140分)	田中道博氏 (旭サナック(株))
13:30~14:00	圧造油について (30分)	渡邊康臣氏 (スギムラ化学(株))
14:10~16:30	ナット生産設備及びナット冷間圧造加工機の取り扱い方について (演習問題及び問題の解説を含む) (140分)	岡田泰雄氏 (株)阪村機械製作所)

・10 月 16 日(木)

- 9:30～11:50 ナットタッピング生産設備及びナットタッピング機の取り扱い方について  
渡辺大輔氏 (東京タッピングマシン株)  
(演習問題及び問題の解説を含む)(140分) 林 達志氏 (株野村工具製作所)
- 13:30～15:50 ねじ転造、ねじ転造設備及びねじ転造生産設備の取り扱い方について  
(演習問題及び問題の解説を含む)(140分) 林 範繁氏 (株三明製作所)

4. 受講対象者:今年度、ねじ製造技能検定試験の受検を希望される受検者又はねじ製造に関心があり講習会を受講したいと希望される方ならどなたでも受講出来ます。

5. 持ち物:・受講票

- ・ねじ製造技能検定ハンドブック (ねじ製造技能検定及び本講習会テキスト)
- ・その他 簡単な計算に電卓があると便利です

6. 受講費用:一人 3 日間=30,000 円 ハンドブック代=10,000 円

※ 会員価格: 一人 3 日間=10,000 円 ハンドブック代=5,000 円

受講票と「払込取扱票」(ゆうちょ銀行用)と一緒に郵送致しますので、送付状記載の期限迄にお振込みをお願い致します。ハンドブック購入の場合は改めて事前に受講者宛に送付致します。Web 講習で PC を共有して受講する場合は、申し込み者以外の受講はお断りします。受講人数分の費用をお支払いください。

7. 参加申込方法:(一社)日本ねじ工業協会 事務局宛に申込書をファクシミリ、電子メール、郵送のいずれかで申込書を送付してください。 住所:〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8 508  
FAX:03-3434-0546 電子メール:[honbu@fij.or.jp](mailto:honbu@fij.or.jp)

8. 申込期間:7 月 22 日(火)～8 月 29 日(金)までをお願い致します。

9. お問い合わせ先:一般社団法人 日本ねじ工業協会 担当:荻上和彦(おぎうえ)  
TEL:03-3434-5831 FAX:03-3434-0546 E-MAIL:[honbu@fij.or.jp](mailto:honbu@fij.or.jp)

講習会の詳細及びお申し込みは、[公式オフィシャルサイトのこちら](#)をご参照ください。

また、(一社)日本ねじ工業協会では、ねじに関する諸情報をオフィシャルサイトで公開しておりますので、併せてご覧ください。  
<https://www.fij.or.jp/>



[公式ホームページをチェック!!](#)



## 厚生労働省「40 歳未満の事業主健診情報等の NDB への収載」について

厚生労働省より、令和8年2月より、40 歳未満の事業主健診情報について、NDB への収載が開始されることを踏まえ、当該内容について別添のとおり通知がありました。本件につきましての周知依頼がありましたので、添付の通りお知らせいたします。

[添付書類](#)